

「放課後等デイサービスついでんずくらぶ」の主な療育内容

1 はじめに

ついでんずくらぶは小学校低学年(1~4年生まで)を対象とした、放課後等デイサービスです。通常の預かり型とは異なり、応用行動分析学を用いて行動に介入することでお子さんの抱えている課題を解決に導くため、保護者との連携を重視しております。

『いつかできるを、今できるように』

2 支援プログラム

- ・応用行動分析学
- ・ソーシャルスキルトレーニング(SST)
- ・学習支援
- ・ペアレントトレーニング

スタッフとマンツーマンで行う療育

個々の発達状況や困り感に合わせてきめ細やかな支援を提供できるだけではなく、マンツーマンで個々のペースに合わせて行うので子どもの成功体験を積み重ねやすいという特徴があります。

ひとりで取り組み完成出来るように工夫された課題

「一人でできた！」という達成感を味わうことを大切にしています。課題を積み重ねることによって自信が持てるようになり、机に向かって学習する能力が身についていきます。発達に応じて様々なことを学ぶことに役立ちます。

3 ついでんずくらぶでの過ごし方

学校お迎え→準備→おやつ→2階で自立課題・個別課題・活動→帰りの会→送迎開始

4 営業時間

- ・開所時間: 12:00~18:00
- ・支援時間: 14:30~17:00(学校休業日、祝日、長期休暇も時間の変動はありません)

5 送迎について

ついでんずくらぶではルート送迎を取り入れています。

・公共機関を使う機会が少ないからこそ、待ち合わせをすることによって遊びや日常動作を 通じて「待つ」練習をしています。

6 療育内容・支援プログラム

ついでに、専門家が監修したAIが一人ひとりに合わせた「診断」と「個別支援計画」を自動作成し、診断結果、または発達レベルをもとに日々の療育課題を提示しています。

『課題』

・個別課題

スタッフとマンツーマンで個々のペースに合わせて行う療育のことを言います。

指導員と一緒に課題に取り組めます。

個々の発達状況や困り感に合わせてきめ細やかな支援を提供できるだけでなく、お子さまが無理せず続けられるよう、「好子」と呼ばれるお子さまの好きな物を活用しながら行っています。

小さな成功体験をたくさん積み重ねて、徐々にステップアップしながら目標達成につなげていきます。

・自立課題

個別課題にて、自分1人で取り組むことが出来るように設定された課題のことを言います。

【課題の行い方↓】



自立課題を通して、最初から最後まで一人でやり遂げる自信が付き、さまざまなことに取り組む意欲が育まれます。

『活動』

・集団活動

社会性の向上を目的とし、様々な集団活動を実施しています。集団活動は、子供たちが他者と関わる機会を

増やし、協調性やコミュニケーション能力を補うために重要な役割を果たしています。

当事業所では、ABA(応用行動分析学)を取り入れた支援プログラムを基盤とし、一人ひとりの特性に合わせてサポートを行いながら安心して参加できる環境を整えています。

【目的】

- ・コミュニケーション能力向上
- ・協調性・チームワークの促進
- ・自己表現の機会の提供
- ・感情のコントロール

・個別活動

子ども一人ひとりのペースや興味に合わせて取り組める活動です。

得意・不得意が違うのでその子に合った活動を行っていきます。

【目的】

- ・認知学習系
- ・運動系
- ・手先のトレーニング
- ・感覚遊び
- ・コミュニケーション

7 ABA(応用行動分析学)

ABAでは行動がどのように生じ、変化するかを以下の流れで分析します。

行動の先行事象(A) → 行動(B) → 行動の結果(C)
問題となる行動 具体的な行動 どのような結果が起きたか

8 まとめ

以上のように、ついんずくらぶではABAを取り入れた個々にあった支援を取り入れていきます。スモールステップで少しずつ成長を促していきます。